



小学校関係者の方へ

交通学習のご紹介



はじめに

昨今の子どもたちは、電車やバスに乗れるのでしょうか？乗ったことがあるのでしょうか？今は一家に一台は車がある時代です。レジャーや買い物、通勤、通院、習い事等への送迎など、私たちの暮らしはクルマによって支えられています。

しかし、クルマに依存した暮らしは、大気汚染や地球温暖化などの環境問題の他、慢性的な交通渋滞、公共交通の衰退など、子ども達の未来に関わる様々な問題を引き起こしつつあります。

公共交通機関が衰退したり、廃止されてしまえば、クルマを持たない人は、買い物や病院に行けなくなります。いつ、誰が、何処に行くのかを問いかねながら、地域の一員として地域みんなの移動手段に関わることの大切さを学びます。

1. 交通学習とは

交通学習は自治体や事業者の視点からは、小学生等に公共交通に親しんでもらい、利用するきっかけをつくる取り組みですが、交通は地域と自分をつなぐ、子どもにとって最も身近な資源の一つであり、環境や福祉、地域学習等の单元とも関連づけられることから、教育活動としても有用なものと考えています。




そのため、「交通学習」とは、以下のような取り組みのことをさします。

交通を活用することで、環境や福祉、地域について実感を深め、
考えることを目的としたプログラムの実施を通じ、
結果的に、公共交通への親しみや理解が深まり、
家族にも波及した実践にもつながる取り組み

2. 交通学習のプログラムメニュー

プログラムとしては、バスや物流、鉄道等を題材にしたものがあります。

その中でもバスは、概ねどの地域にも関わりがあり、身近で実物の見学もしやすいため、学習（環境や福祉等）を深めるのに使いやすい素材です。

	プログラム	主な対象例	概要	事業者との連携
バスが 身近な地域 	バス車両の 工夫見学	・5年社会科（環境） ・4年社会科（福祉） 等	バスの工夫を通じて地域との関わりや自分の行動について考える	○
物流・産業が 身近な地域 	物流車両の 工夫見学	・5年社会科 （産業・環境） 等	物流車両の環境面の工夫を通じて、自分の行動を考える	○
鉄道が 身近な地域 	鉄道を 支える仕事	・4年社会科 （くらしを守る） ・5年社会科（環境） ・キャリア教育 等	鉄道の仕事を通じて地域の支え合いや自分の行動について考える	○
その他	バス 体験乗車	・2年生活科 （まち探検） ・5年社会科（環境）	施設見学等にバスを利用し、バスを通じた地域とのつながりを実感する	—
	交通 すごろく	・5年社会科（環境） 等	ゲームを通じて交通手段選択が地域に与える影響や自分の行動を考える	—

3. プログラムの内容（バス車両の工夫見学）

例えば、バス車両の工夫見学は行政と事業者が連携して以下のような内容を行います。

○学習の目的・テーマ

- ・バス車両の見学を通じて、地域の生活を支えるバスの役割を学ぶ。
- ・地域の人々の移動を支えるバスに対して、自分にできることを考える。

項目		主旨・概要	実施イメージ
導入 (約 10 分)	地域を支えるバス	<ul style="list-style-type: none"> ・何処を走り、何処に行けるのか。 ・どんな人が利用するのか 	
	色々な人が利用するバス	<ul style="list-style-type: none"> ・バスには色々な設備がある ・それは様々な人が利用するために必要なものであることを知る 	
車両見学 (約 45 分)	全体説明	<ul style="list-style-type: none"> ・見学の主旨、ポイントの理解 ※色々な人が使うバスにはどんな工夫があるか観察しよう ※代表的なバスの工夫（ニーリング等）の例示 ・見学方法（流れ）の理解 	 
	車両見学	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の班に分かれ、ローテーションで見学 ※車両外側、車両内部、運転席等 ・乗務員が誘導しながら観察、質問（ワークシートへ記載） 	
まとめ (約 30 分)	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた点の発表（板書） ・工夫点の理由の考察、共有 	
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人が利用するバス、バスが支える地域の認識、実感 ・バスと環境との関わりを知る ・地域にとって重要なバスの理解 	
	考える	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でバスをうまく利用していくためにできること（考えて発表） 	

▼授業を受けた児童の声

<自分にできること>

- ・もし、**バスが無かったら通学の時に歩いて学校まで行くのはつらい**です。買い物に行くときはなるべく**バスで行きたい**です。
- ・バスに乗っていて車イスの人やお年寄りが乗ろうとしているときには**助けてあげたい**。
- ・私はこの話を聞いてちょっとバスの**仕事をやってみたい**なと思いました。

<授業の感想>

- ・お年寄りや体の不自由な人のために段差をなくしたり、他にも**知らなかったことをたくさん知れてよかった**です。
- ・運転手さんがミラーを使って安全確認をされていてすごいと思いました。
- ・今日の授業で**今まで知らなかったことや不思議に思っていたこと**、普段では体験できないことを教えてもらったり、**実際に体験させてもらってよかった**。



4. 交通学習のいろいろな効果

これまでの取り組みで見られた結果について、先生方の声を中心にご紹介します。

●色々な学習を深めたり社会性を育てる効果があります！

実際に環境や福祉の学習の理解を深めたり、社会性を育てる効果を実感されています。

▼「バス車両の工夫見学」を実施している小学校の先生のご意見

当校は亀岡市で最もバスが便利な地域にあり、とにかく**身近な交通手段**であるため、題材にした効果は大きかったと思います。環境の話を多く盛り込んだ内容でしたが、**5年生は環境の内容が多い**ため、効果的でした。（亀岡市／校長先生）



今年、**福祉をテーマにした総合学習の一環**として実施し、福祉施設での活動と関連づけられて良かったと思います。**2時間だけで終わるのはもったいない**ので、前後とつながっていくような取り組みにできると良いと思います。（福知山市／校長先生）



▼施設見学時のバス体験乗車を実施している小学校の先生のご意見

これを通じて、バスに乗れば自分の足だけでは行けない**色々なところに行ける**という**認識**が広がっていけば、**周囲に目を向けて視野を広げていくきっかけ**になるのではないかと考えています。（久御山町／校長先生）



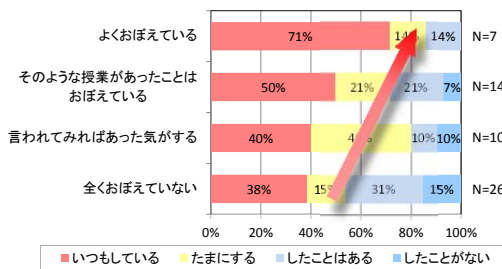
普段から自動車を利用する環境で育った子どもと、公共交通をよく利用する子どもでは、**我慢強さや人の様子を見て行動する能力が違って**くると思います。この授業も活用しながら、**自分のまちに愛着を持ち主体的に行動できる人間**を育てたいと思っています。（久御山町／教頭先生）



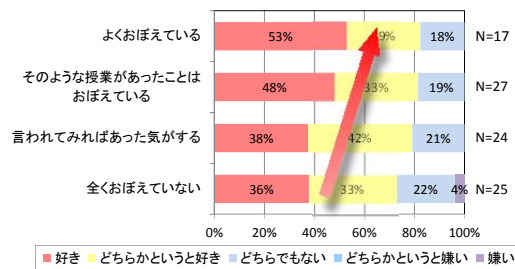
●マナー意識や地域への意識・愛着も向上！

受講後の中学生に対して、プログラムの内容に関わるマナーや地域への意識についてアンケートをした結果、授業をよく覚えているほどそれぞれの意識が高く、マナーや地域への意識を高める効果もあると考えられます。

▼乗車マナー(騒がない等)を守っているか



▼自分の住む町に愛着があるか



交通学習は様々な効果があり、学校での学習を深めるのに活用できます。
ご興味を持たれましたらお気軽に下記までご連絡ください。

[連絡先] 京都府交通政策課 TEL: 075-414-4368

交通は
まちづくりの
第一歩！！